

WE しもやま
LOVE

夏の風物詩、しもやま夏まつりを開催しました

8月12日（月）に、しもやま夏まつりが開催されました。

会場は、しもやま観光PR大使の矢上彩乃さんによる司会進行で、こども園によるダンスやもち投げ、下山地区出身のミコアポコさんによるステージなどで盛り上がりしました。

また、会場内では、スーパーボールすくいを始め、「しもやまいいところだSODA」という7自治区をイメージしたドリンクや五平餅などを販売するテントなど様々なお店が出店していてとても賑やかでした。

来場者数は2,500人で、去年の2倍を超える来場者となりました。

会場が人でいっぱいになると、やぐらを囲む輪は大きくなり、下山のふるさと音頭や京都の女の子など、お馴染みの曲と太鼓に合わせて盆踊りを楽しみました。

祭りのフィナーレは、迫力満点の打ち上げ花火で、下山の夜空を彩り、来場者の皆さんを魅了しました。



▲盆踊りの様子



夜空を彩る花火 ▶



森の相談窓口を開設します

あなたの森林のお困りごとの相談に乗ります！！

所有する森林に関する困りごとについて、どなたでも無料で相談ができます。お気軽にお越しください。

※ご予約いただければ、優先的にご案内します。9月2日（月）より予約可能です。

■とき 令和6年10月12日（土）午後1時～午後7時

■ところ 下山支所2階 大会議室

■相談員 愛知県豊田加茂農林水産事務所 林務課・森林整備課、豊田森林組合、豊田市森林課・下山支所

■問合せ・予約 豊田市森林課 森づくり推進担当 62-0602



下山地区自治区紹介（自治区リレー 三巴）Vol. 3

下山地区は7つの自治区に分かれています。各自治区の魅力を発信していきます。第3回目は、三巴自治区を紹介します。

三巴自治区…蘭町と黒坂町の2つの町で構成され、世帯数98世帯（令和6年4月時点）です。

今回は、三巴自治区の区長、副区長、黒坂組長にお話を伺いました。



Q.三巴自治区はどのようなところ？

大桑川や黒坂川、郡界川が流れ、とても自然の豊かな地区です。蘭町の郡界川沿いでは、地域住民が定期的に手入れを行い、整備された河津桜が春に綺麗な花を咲かせます。毎年、桜を見る会が開催され、地域の繋がりを大切にしています。

三巴自治区では、豊田市の特産品である花の栽培がおこなわれています。夏は黒坂町と蘭町で栽培されている小菊、秋から冬にかけては黒坂町のシクラメンが全国に出荷され、下山産の花が日本を豊かにしています。

また、無形民俗文化財である、「黒坂の祭り囃子（巴太鼓）」といった文化伝統も継承されています。在住の若い世代と移住されてきた若い世代が楽しみながら練習を行い、7月の祇園祭、10月の大祭で演奏、奉納しています。



▲蘭町郡界川沿いの河津桜



▲秋の大祭での巴太鼓の演奏

Q.三巴自治区プランはどのようなプラン？何してるの？

三巴自治区プランでは、5つの取組があります。①定住・移住の促進、②子育て世代の交流促進、③農地山林の維持管理、④自然を守り育てよう、⑤地域活動の維持発展です。③の取組では、農地の獣害対策や山林の整備などを行っていますが、地域住民だけでなく、地区外の方に協力してもらい、交流を深めながら進めています。また、④の取組では、郡界川に生息する蛍を守り増やしていくため、蛍に良い環境づくりを行っています。今年度は外部講師を招き、川の状態を確認し環境づくりのための指導を受ける予定です。

太田自治区長から一言！

人口減少はどの自治区でも共通の課題であると思いますが、三巴自治区でも毎年少しずつ人口が減少しています。地域運営の担い手が少なくなっていく中でも、地域住民は団結し、今ある地域の伝統やお祭りなどの行事を守っています。また、小さな地域だからこそお隣さん同士の交流があり、お互いを支えあう思いやりのある地域だと感じます。今後も住民同士の繋がりを大切に、次世代に三巴自治区の良さを引き継ぎたいです。



わくわく事業団体紹介 八沢の丘公園整備委員会

事業名：旧大沼小学校跡地の公園化整備

事業概要：住民に馴染みある小学校跡地の丘陵部全域を活かし、訪れる人みんなが笑顔になり、楽しめる「憩いの場所 八沢の丘」になるよう整備を進めています。今年度は、ウッドデッキ設置、ドッグラン整備などのハード整備のほか、ピザ作り体験や下山中学校吹奏楽部の演奏会など、地域内外の方が参加しやすいイベントを開催しています。

鈴木 悟さん（代表）からのヒトコト

「公園が欲しい」という地域の声を受け、自治会ボランティアや関係人口の協力を得て整備を進めています。小中学校と連携し、遊具アイデアの提案や作業協力など利用者参画型で、支障木を活用した遊具や看板などを手作りしたことで、高齢者や親子連れの利用者が増えました。何より「こんな広場があったら子どもたちが楽しいかな」と、自分の子や孫たちが楽しむ姿を想像しながら、先ずは“委員会メンバー自身が楽しむ”をモットーに活動しています。公園整備に終わりはなく、利用される方から『下山のすすめ』と喜んでいただける場にしていきます。8月4日（日）にはピザ作り体験と星空観賞会を開催し、地域内外から100人を超える参加がありました。焼き上がったピザを食べると「おいしい！」と満点の笑顔になりました。

この事業と一緒にやってみたいと思う方は団体のLINEまたはブログから、ぜひご連絡ください！



▲団体公式LINE



▲団体公式ブログ



▲手作りのピザを作る様子



▲ウッドデッキでのお披露目演奏会



秋の山里大感謝祭の開催

羽布町にある手づくり工房山遊里が、毎年恒例の秋の山里大感謝祭を開催します。当日は、日頃の感謝を込めて、お値打ちな商品の販売や体験イベントなどを予定しています。

皆さまのお越しをお待ちしております。

■日時 令和6年9月28日（土）
午前9時30分から午後3時30分

■場所 手づくり工房山遊里

■内容 くるくるソーセージ作り体験、
早食いコンテスト、農産物販売 など

ロープで木登りツリーイング体験会 in 三河湖の参加者を募集します

三河湖の豊かな自然の中で、ロープを使った安全で楽しい木登り体験と木工クラフトづくりをします。地区住民の皆様の応募をお待ちしています。

■日時 令和6年10月5日（土）※雨天:6日（日）
午前9時30分から午後3時15分

■場所 羽布町 原石山広場および小公園

■対象 小学生以上

■参加費 3,000円/人（体験料、保険代）

■申込み 申込みフォームまたは 申込票をメールかFAX
メール：karen@hm12.aitai.ne.jp

FAX：90-4121 香恋の館へ提出

■問合せ (株)香恋の館 TEL (90-4120)



下山の自然あれこれ「⑫易往寺のクロガネモチ」

花沢町の国道301号沿いにある易往寺は、平安時代以前に創建され、下山地区で最も古い歴史を持つお寺の1つです。戦国時代に兵火にあい本堂等が全焼しましたが、その後再建され、修理を繰り返しながら現在の姿を保っています。

本堂を正面に見て左手に屹立している大木が、クロガネモチの木です。高さ22m程度、太さが1mにもなる大樹で、市の天然記念物に指定されています。クロガネモチは、一般的には高さ10m程度までとそれほど大きくならないため、易往寺のように20mを超える高さの個体はかなり珍しいと思います。

この木は、高さ3m付近で幹が三方に分かれて上空に伸び、上部で半球状の樹冠を作っています。高さ12mくらいまで枝の横への成長が抑えられて葉っぱの量も少ない状態のため（写真の中央部付近）、不思議に思っていると、お寺のご住職が「以前は、隣にイチョウの木がありました」と教えてくれました。『下山の史跡と文化財』（下山村教育委員会、昭和63年）で当時の写真を確認すると、この木の周囲には複数の木があり、当時は「林」のような景観だったことが分かりました。

なお、境内には市の天然記念物がもう1本、ヒヨクヒバ（サワラ）の大木があります。境内に天然記念物が2本という稀有な環境ですが、これからも、お寺の関係者の方々の手によってこれらの木々は守られていくことでしょう。



▲易往寺のクロガネモチの大木



連載コラム「せっつが行く！ Vol.16」

我らが五平マン 東京ドームで大活躍！



下山住民にとって大事な家族の一員である「五平マン」が7月19日（金）に東京デビューを果たすという噂を聞きつけ、取材に行ってきました。

この日は、東京ドームで開幕する都市対抗野球に、豊田市代表のトヨタ自動車（以下、トヨタ）が出場するというので、五平マンは下山と豊田市を応援するキャラクターとして登場。トヨタを応援するとともに、下山と五平餅をしっかりとアピールしてくれました。トヨタの応援団が作った五平餅のオリジナル曲に合わせて、ステージ上で軽やかに踊る姿は、かなり練習を積んできたと感じました。

後日、トヨタ応援団にインタビューをしたところ、「五平マンは、ステージ上に留まるだけでなく、スタンドの至る所に潜り込むことで、詰めかけたお客様のテンションをMAXにもっていけるように動き続けていた」と教えてくれました。短い手を目一杯振りながら、球場の狭い通路や階段でも軽やかに歩く五平マンの姿に、球場内やSNSでは「ティッシュケースみたいな茶色いキャラは誰??」と、かなり反響があったようです。猛暑の東京出張、お疲れ様でした。



▲ステージ上で応援する様子



▲球場内を縦横無尽に走りまわる五平マン



第4回は、ラリー競技にてドライバーと共に戦う「コ・ドライバー（通称：コドラ）」についてお話を伺いました。

Q：競技の際に同乗しているコドラはどんな役割があるのですか？

A：ドライバーが運転に集中できるようにナビゲーターとして、リエゾン区間を含めたコース全体の道案内をしてくれます。特にタイムを競うSS区間では、「ペースノート」で情報を共有します。

Q：ペースノートとはなんですか？

A：ドライバーが耳で聞く地図になります。競技前のレッキ（下見走行）でカーブの角度や道幅、路面状況などをコドラにメモしてもらいます。全部読み上げるのは大変な

本名：洪銘蔚（ホン・ミンウィ）
下山地区在住のラリードライバー
豊田市わがまちアスリート



▲ペースノートと数字記載のハンドル



▲ミンミンさんとコドラ（安藤氏）

ので、ハンドルに数字を書いて、曲がり幅を数字にしたり、右はR、左はLなど省略しています。ペースノートの作り方は一人ひとり違います。

（ミンミンさんのペースノート記載例）※数字はハンドルの曲がり幅

R5⑧●L4⑨（右に80° すぐにカーブミラーすぐ左に90°）

Q：事故なく完走するためにもコドラの存在は重要ですね。

A：実は、コドラは競技中だけでなく会場までの渋滞考慮や休憩所の確認、前泊が必要であればホテルの手配と、常にドライバーが万全の体制でレースにだけ集中できる環境をつくることも担ってくれています。コドラは本当に大変なんです！ 同じわがまちアスリートの安藤裕一選手がコドラを務めてくれるときは、ペースノートづくりのアドバイスやメンタルサポートなど私の心の支えになってもらっています。

【お知らせ】

ミンミンさんが、10月12～13日に稲武地区で開催の「シロキヤラリー」に出走します。当日はしもやまラリー実行委員会も応援に駆け付けます。みんなで応援にいきましょう！

下山地区データ



人口

3,962 人
(-78)



男性

1,972 人
(-33)



女性

1,990 人
(-45)

（8月1日現在）
※（）は前年同月比



世帯数

1,646 世帯
(5)

発行情報

編集・発行

豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）
毎月15日発行

お問い合わせ

TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344
MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！





〔 社協下山支所だより 〕

まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyo.jp



9月はアルツハイマー月間です！！



1994年「国際アルツハイマー病協会」（ADI）は、世界保健機関（WHO）と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓蒙を実施しています。また、2012年からは9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な取り組みを行っています。国際アルツハイマー病協会国際会議の初日が9月21日だったことから、「世界アルツハイマーデー」に制定されました。



共に生き ともに歩もう 認知症



世界アルツハイマーデー (認知症の日)

9月21日は世界アルツハイマーデー（認知症の日）です。公益社団法人認知症の人と家族の会

『公益社団法人認知症の人と家族の会』より引用



まどいの丘でも認知症の普及啓発に取り組んでいます！！

オレンジガーデニングプロジェクト

オレンジガーデニングプロジェクトとは、「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう！」という思いを共有し、楽しみながら花を育て、全国各地で認知症の啓発カラーであるオレンジ色の花を咲かせるプロジェクトです。

大沼集会所



大沼こども園



認知症サポーター養成講座

認知症について正しい知識をお伝えするために、まどいの丘包括支援センターの職員が向いて講座を開催します。認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成し認知症の方に優しいまちづくりに取り組んでいます。

認知症の人に接するときは

- ①驚かせない
- ②急がせない
- ③自尊心を傷つけない

の3つのないが大切だよ。





下山交流館だより

連絡先
TEL:0565-91-1650
FAX:0565-91-1030



開館:午前9時～午後9時 休館日:月曜日(祝日、振替休日を除く) H P: <http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>



講座案内

テストコース見学会

〈11月16日(土) 開催予定〉 **先着順**

時間: ①13時～14時

②15時30分～16時30分

場所: トヨタテクニカルセンター下山

対象: 下山地区住民

定員: 480名(各組240名)

申込み: 9月28日(土)10時～ 交流館窓口

※申込多数が予想されますので、**窓口のみ**の受付とさせていただきます。(電話・FAX不可)

※9月配布のチラシ兼応募用紙をご記入の上、交流館に提出ください。

※今年の申込みは、先着順になりますのでご注意ください。

※詳細はチラシをご覧ください。



令和6年度

しもやまスマイルフェスタ



10月27日(土) 9時30分～15時

会場 下山交流館・駐車場

◆今年の**芸能発表**は外舞台で行います。
お間違えのないようにご注意ください。

◆その他 **作品展示、販売、体験コーナー**
など盛り沢山の内容になっています。
キッチンカーも出店予定。
ご家族、お友だちお誘い合わせの上、お越しください。



ちょこっと
先の

講座紹介

〈予定〉 ※変更になる場合もあります。



ハンドメイド講座



◆カルトナージュ体験 **12月5日(木)**

好きな布を使って、世界でたった1つのオリジナル作品をつくりませんか？

◆シルクコサージュ作り **1月24日(金)**

卒業、入学式にピッタリの春らしいコサージュを作ってみませんか？

※詳しくは回覧チラシをご覧ください。



自主グループ活動報告



下山囲碁・将棋クラブ

【囲碁大会 8月3日(土)】

優勝: 数森 孝さん

【将棋大会 8月10日(土)】

優勝: 城殿昭則さん



今後の大会予定

【囲碁】10月19日(土)

【将棋】11月2日(土)

参加者
募集中!

忘れ物

忘れ物に心当たりの人は交流館までお問い合わせください。

【ロビー展示のご案内】

10月1日(火)～10月31日(木)

『手作り作品展』

JA あいち豊田女性部下山支部

いももたちに伝えたい
しめやまの
おひこれ



染

ーおひこれ・おひこれ・おひこれー 絵と文 なかむらこ



染

米の粉を
水でぬるって作る
生のもち染を
重箱に入れて
持つてゆき
はしで取って
葉にのせて
お供えに
したよ。



神様仏様にお供えするおひこれ、おひこれもち、おひこれもち、おひこれなど
と呼ぶ米の粉を水で耳たぶくらいの柔らかさに練ったもちを染といっけ
水で今でも染をお供えしているところがあるかなあ。

ちよいと昔ひばあちゃんが子どもだっくらひの昔だよ。大沼名牛で
はその年子の生まれた家はあ祭りの時に重箱におひこれもちを入
れお供えする習わしがあったげな。神事後の直ぐおまがりのおひこれもち
をちぎって丸めて焚火に投げ入れ焼けたもちを皆で食べたよな。

阿蔵のはあちやから聞いたお話は村中の石仏におひこれ供えて
巡る行事があつてゆちやが重箱のもちを葉っぱに乗せて供えて巡る
のにももは空の重箱を持つていて回り拝むとてにもらて帰る
だっけな。家で焼いてたまり醤油で食べるのがうれしかたげな。

羽衣のはあちやによると新米が取れた感謝に村人がそとれ
お宮と御銀様三十三所観音様弘法様地藏様に村々の葉に乗
せた染をお供えしたげな。子どもはそとれを取りに行つていただけで
親に「すぐ取りに行くじやないぞ」と言われ「カラスをまねてカーカー
鳴いて取って来るだぞ」と教えられ、ていねいにお経を上げる人も
あらうな。待ち遠しいのをしばらくいらえてからカラスの鳴き
まねしてカーカーカー鳴いて下げてくるだっけな。

お米はお金の代わりになった時代だよ。大切に貴重なお米の粉を
供えて拝み、ちやあぶおまがりも喜ぶと載って食べたんだよ。

